



個を生きし生きる力と夢をはぐくむ学校教育

平成19年度

学習状況調査実施報告書



平成19年12月

青森県教育委員会

刊 行 に 寄 せ て

青森県教育委員会では、県教育施策の方針に「新しい時代を主体的に切り拓く人づくり」を掲げ、「教育は人づくり」という原点に立って、「確かな学力」と「豊かな人間性」をはぐくみ、個を生かし生きる力と夢をはぐくむ学校教育の推進に向け、様々な教育施策を展開しております。

「確かな学力」の向上に向けた取組の一環として、平成15年度から実施している学習状況調査も5回目となりました。今年度も調査結果を分析し、本県児童生徒の学習指導上の課題を明らかにするとともに、指導改善すべき事項を取りまとめた実施報告書を作成いたしました。

本報告書には、昨年度と同様、県全体、各教育事務所管内、10市6地域ごとの通過率を示しておりますので、各学校あるいは各地域の課題等の共通理解に役立てていただきたいと思います。

各学校においては、本報告書の活用を図るとともに各種調査の結果をも踏まえて、自校の実態に応じた指導の工夫改善等を行い、「確かな学力」の一層の向上に向けて、教育活動に積極的に取り組んでいかれるよう願っております。

結びに、本調査の実施に当たり、県内各小・中学校及び各市町村教育委員会には多大な御協力をいただきましたことに対しまして、心からお礼申し上げます。

平成19年12月21日

青森県教育委員会

教育長 田 村 充 治

目 次

1 調査の概要	1
(1) 調査の趣旨	
(2) 調査の内容等	
(3) 調査対象学年及び教科	
(4) 調査実施学校数及び児童生徒数	
(5) 調査実施日	
(6) 調査実施方法等	
2 調査結果の概要	5
(1) 小学校第5学年.....	7
(2) 中学校第2学年.....	8
3 小学校各教科の調査結果の概要及び今後の指導について	9
(1) 国 語.....	11
(2) 社 会.....	19
(3) 算 数.....	27
(4) 理 科.....	35
4 中学校各教科の調査結果の概要及び今後の指導について	43
(1) 国 語.....	45
(2) 社 会.....	53
(3) 数 学.....	61
(4) 理 科.....	69
(5) 英 語.....	77
5 問題用紙等	85
(1) 各教科の調査問題用紙.....	87
(2) 音声問題台本（小学校国語、中学校国語、中学校英語）.....	123
6 各教科の採点基準	127

* 本報告書を読むに当たって *

- 1 この報告書の各教科の結果等の記述内容は、ペーパーテストで出題可能な範囲の内容について、各教科24問～31問の出題をし、それらの解答結果をもとに分析したものです。
したがって、この結果のみをもって、各教科のすべての学習状況及び能力を把握できるものではないことに留意してください。

- 2 本報告書中の用語については、以下のように解釈してください。
 - 「設定通過率」
： 本県児童生徒の学習状況の実態をより具体的に把握するために、教科ごと・問題ごとに示した目標となる通過率である。
各問題の通過率が設定通過率の上下5%の幅に収まっていれば、設定通過率と「同程度」と考えることとする。また、この幅を超えていれば、設定通過率を「上回る」と考え、この幅に達していなければ、設定通過率を「下回る」と考えることとする。
 - 「教科全体の通過率」
： 教科の全小問の総正答数÷教科の全小問の総解答数
 - 「教育事務所管内・地区別通過率」
： 各教育事務所管内・地区の教科の全小問の総正答数÷
各教育事務所管内・地区の教科の全小問の総解答数
 - 「4（5）教科全体の通過率」
： 4（5）教科の全小問の総正答数÷4（5）教科の全小問の総解答数
 - 「小問の通過率」
： 小問の総正答数÷小問の総解答数
 - 「各内容・領域等の通過率」
： 各内容・領域等に属する小問の総正答数÷各内容・領域等に属する小問の総解答数
 - 「各観点の通過率」
： 各観点到属する小問の総正答数÷各観点到属する小問の総解答数

- 3 各教科の調査結果の概要の「オ 個々の問題の主な誤答例とその原因」の項での誤答傾向の分析には、各教科とも、全小・中学校から提出された解答用紙の中から、200人分を無作為に抽出したものを用いました。

- 4 本調査を8月に実施し、12月に報告書を作成・刊行した理由の1つは、年度内に補充的な指導等を行っていただくためです。
本報告書を参考にしながら、各学校の児童生徒の実態に合わせて、適切な指導をお願いします。

1

調 査 の 概 要

1 調査の概要

(1) 調査の趣旨

県内小・中学校の児童生徒を対象に、全県的な規模で学習状況の調査を行い、学習指導要領における各教科の目標や内容の実現状況を把握し、学習指導上の課題を明らかにするとともに、各学校が指導の改善に活用することができるよう、県全体の結果と学習指導の改善の方向性を示した資料を作成し、本県児童生徒の学力向上に資する。

(2) 調査の内容等

ア 教科の調査問題については、学習指導要領に基づき、教科の目標及び内容のうち、基礎的・基本的内容について出題し、調査を行った。ただし、各教科とも、評価の観点の1つである「関心・意欲・態度」については、問題に含めないこととした。

イ 各教科の調査問題の出題範囲は、以下のようにした。

小学校：第4学年の内容及び第5学年の1学期の内容

中学校：第1学年の内容及び第2学年の1学期の内容

ウ 年間指導計画や教科書の内容配列等により、調査問題に履修していない内容が含まれている場合は、それには解答させないこととした。

(3) 調査対象学年及び教科

ア 小学校第5学年「国語」、「社会」、「算数」、「理科」

イ 中学校第2学年「国語」、「社会」、「数学」、「理科」、「英語」

(4) 調査実施学校数及び児童生徒数

ア 小学校 369校 第5学年（県内全児童） 13,693人

イ 中学校 172校 第2学年（県内全生徒） 14,245人

※ 調査対象児童生徒の在籍がなかったため、調査を実施しなかった小学校5校、中学校2校を除く。

※ 学校教育法第75条第1項で規定されている特別支援学級の児童生徒については、特別の教育課程によって学習している場合もあることから、調査の実施に当たっては、個々の学習内容の履修状況に応じて、校長が判断するものとした。

(5) 調査実施日

県下一斉日を以下のように定めて実施した。

ア 小学校 平成19年8月29日（水）

イ 中学校 平成19年8月29日（水）

※ 対外行事等の都合により一斉実施日でない日に実施した小学校が5校、中学校が5校あった。

(6) 調査実施方法等

ア 小学校においては、「国語」、「算数」、「社会」、「理科」の順で実施することとし、実施時刻については、児童の負担を考慮し、各学校が定めることとした。

イ 中学校においては、「国語」、「英語」、「数学」、「社会」、「理科」の順で実施することとし、実施時刻については、生徒の負担を考慮し、各学校が定めることとした。

ウ 1教科当たりの調査時間は、小学校は45分、中学校は50分とした。

エ 実施後の採点、集計結果等の処理については、まず調査実施校において行うこととした。その後、所轄の市町村教育委員会、教育事務所が順次集計を行い、最後に県教育委員会がそれらを総括することとした。

2

調 査 結 果 の 概 要

2 調査結果の概要

(1) 小学校第5学年

ア 問題数及び県全体の通過率

教科	問題数 (問)	通過率 (%)	0	50	100%
国語	30	75.1			
社会	29	66.8			
算数	27	64.8			
理科	30	63.8			

※ 理科の総問題数は32問であるが、選択問題があり、1人の児童の解く数が30問であるので、これを問題数とした。

イ 教育事務所管内・地区別通過率

(単位：%)

管内・ 地区名	教科名 設定通過率	国語	社会	算数	理科	教科全体
		70.0	74.0	73.9	70.0	72.0
東青管内	青森市	74.4	65.4	65.0	63.5	67.1
	東郡	74.5	65.5	65.3	63.6	67.3
		71.7	64.4	61.2	62.0	64.9
西北管内		76.4	69.0	65.8	65.1	69.2
	五所川原市	76.0	67.5	64.5	63.2	67.9
	つがる市	78.4	70.3	67.0	66.4	70.6
	西・北郡	75.7	69.8	66.3	66.4	69.6
中南管内		75.6	66.8	65.1	62.1	67.5
	弘前市	76.7	68.1	66.8	62.8	68.7
	黒石市	74.2	65.3	62.5	62.0	66.1
	平川市	72.5	65.0	64.1	60.7	65.6
	中・南郡	74.6	63.9	61.2	60.2	65.1
上北管内		76.6	70.3	66.9	65.2	69.8
	十和田市	77.9	70.6	68.1	66.1	70.7
	三沢市	78.2	71.3	66.7	65.9	70.6
	上北郡	74.9	69.6	66.1	64.2	68.8
下北管内		73.8	62.7	61.4	61.6	65.0
	むつ市	74.5	63.6	62.9	62.8	66.1
	下北郡	71.1	59.3	55.5	57.1	60.9
三八管内		74.1	65.9	63.3	64.4	67.0
	八戸市	73.9	65.5	63.4	64.2	66.8
	三戸郡	75.0	67.2	63.0	65.4	67.8
県全体		75.1	66.8	64.8	63.8	67.7

(2) 中学校第2学年

ア 問題数及び県全体の通過率

教科	問題数 (問)	通過率 (%)	0	50	100%
国語	28	69.7			
社会	29	55.2			
数学	24	61.4			
理科	31	61.4			
英語	24	64.8			

※ 理科の総問題数は38問であるが、選択問題があり、1人の生徒の解く数が31問であるので、これを問題数とした。

イ 教育事務所管内・地区別通過率

(単位：%)

管内・ 地区名	教科名 設定通過率	国語	社会	数学	理科	英語	教科全体
		69.1	60.9	61.7	62.1	63.8	63.4
東青管内	東青管内	71.9	57.3	64.6	64.9	67.4	65.1
	青森市	72.2	57.3	64.4	65.1	67.2	65.2
	東郡	68.1	56.9	66.8	62.8	69.7	64.5
西北管内	西北管内	68.6	53.3	59.8	58.9	66.2	61.1
	五所川原市	69.7	54.8	63.1	62.5	69.0	63.6
	つがる市	68.7	53.2	56.8	60.3	64.8	60.7
	西・北郡	67.5	51.9	58.1	54.7	64.3	59.0
中南管内	中南管内	68.3	53.5	59.1	59.9	60.9	60.3
	弘前市	68.3	54.4	60.6	61.9	63.8	61.8
	黒石市	67.6	51.0	56.3	57.3	58.6	58.2
	平川市	69.9	53.2	62.2	59.4	52.9	59.6
	中・南郡	67.3	52.0	52.2	54.4	58.1	56.8
上北管内	上北管内	68.7	53.2	58.0	59.5	62.7	60.3
	十和田市	72.2	57.5	65.8	66.2	67.2	65.7
	三沢市	67.0	50.1	55.7	57.7	63.5	58.7
	上北郡	67.1	51.5	53.4	55.4	59.1	57.3
下北管内	下北管内	67.0	51.4	55.1	53.6	60.1	57.3
	むつ市	67.5	52.2	56.0	53.9	60.9	57.9
	下北郡	65.0	48.3	51.3	52.7	56.9	54.8
三八管内	三八管内	70.7	58.0	64.7	63.9	67.6	64.8
	八戸市	70.9	58.2	65.3	64.0	67.8	65.1
	三戸郡	69.8	57.3	63.0	63.3	66.9	63.9
県全体		69.7	55.2	61.4	61.4	64.8	62.4